介護テクノロジー導入 イメージ図

グループホームゆきその

導入したもの

1. タブレット端末
2. 記録ソフトウェア
3. Wi-Fiルーター等
4. クラウドサービス
5. 保守・サポート
6. セキュリティ対策

グループホームでの活用シーン



スタッフがタブレットで記録・入力
その場で情報を共有・活用

Wi-Fi

Wi-Fiで安全にデータを送信

記録ソフトウェアでデータを管理

クラウドで安全に保管・共有

管理者

他のスタッフ

導入効果

1. 記録業務の効率化
2. 情報共有の迅速化
3. 支援の質の向上
4. 業務負担の軽減
5. 安全・安定した運用

社会福祉法人十百千会

介護テクノロジー導入のお知らせ

グループホームゆきぞのでは、補助事業を活用し、支援業務の効率化及び利用者支援の質の向上を目的として、介護テクノロジーを導入しました。

【導入した機器・サービス】

・タブレット端末
・支援記録等に使用するソフトウェア
・Wi-Fi ルーター等の通信環境機器
・クラウドサービス
・機器及びソフトウェアの保守・サポート
・初期設定及び導入設定
・個人情報保護のためのセキュリティ対策

【導入による効果】

タブレット端末を活用することで、職員が利用者への支援後、その場で記録を入力できるようになり、記録業務の効率化につながりました。また、利用者の健康状態、生活状況、支援内容及び申し送り事項等を職員間で速やかに共有できるようになり、情報伝達の漏れや遅れの防止につながっています。過去の記録や健康状態の推移についても確認しやすくなり、利用者の小さな変化を早期に把握し、より適切な支援を行うことができるようになりました。

今後も介護テクノロジーを活用し、職員の業務負担の軽減を図るとともに、利用者が安心して生活できる支援体制の充実に努めてまいります。

社会福祉法人　十百千会
グループホームゆきぞの



